

生涯学習における努力目標

人権尊重を基盤に、学校教育と社会教育の連携・融合を促進するとともに、関係機関・団体等との連携を密にし、住民参画の視点に立った生涯学習を推進します。

- 1 社会教育関係団体等の自主的、主体的な活動の促進を図るとともに、指導者の育成に努めます。
- 2 現にある課題(人権・環境・福祉・少子高齢化・国際化・情報化・男女共同参画・自主防災等)に住民が関心を持ち、行動に移すよう努めます。
- 3 高齢者の学習機会の拡充とともに、世代間交流をはじめとした高齢者の社会参加活動の促進を図ります。
- 4 中央公民館・地区公民館を核とした、公民館支館・分館の活動を支援するとともに、家庭・地域の教育力向上を支援します。
- 5 文化団体の活動を支援し、芸術文化活動を活発化するとともに、文化財の保存並びに整備と活用を図ります。
- 6 青少年健全育成団体等の組織強化及び事業活動を支援し、良好な環境の保持と非行防止活動を推進します。
- 7 同和問題をはじめとするあらゆる人権問題に対する住民啓発・教育の推進体制の充実及び指導者の育成を図ります。
- 8 子どもを含めた住民が本と親しめるよう図書館機能を充実させるとともに、読書機会の普及・提供を図ります。
- 9 体育協会・スポーツ推進委員会等と連携し、社会体育の振興を推進します。
- 10 生涯にわたる学習の機会を推進するために、社会教育施設の充実及び整備を図ります。
- 11 関係機関や団体等と連携し、子育て及び家庭教育の環境の向上を支援するとともに、生涯学習支援ボランティアの育成を図ります。

※山都町教育大綱の概要等について、前号と今号の2号にわたってお知らせしましたが、教育の振興は、学校や行政のみならず家庭や地域の関わりが重要になります。全町一体となって、「『山の都』のものがたり」を作り上げましょう。

「山都町教育大綱」(その2)

広報やまと1月発行号(先月号)にて、「山都町教育大綱」策定の目的や、柱、各分野の役割りを掲載しましたが、今号では、「学校教育」「生涯学習」のそれぞれの努力目標を掲載します。

学校教育における努力目標

郷土を愛し、命を大切にし、自ら学び考え、夢の実現を目指す人づくりを進め、「生きる力」を育む教育を推進し、主体的に学ぶ意欲と実践力を育成します。

児童生徒の育成に当たっては、一人ひとりを大切にすることを基本に、学校、家庭、地域との連携を図り、将来を担う人材を育てます。

1 「確かな学力」の育成 【知】

基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と、これらを活用する力を育成します。

2 「豊かな心」の育成 【徳】

夢や希望を持ち、公共の精神を尊び、人権意識を高め、自己実現のための力を育成します。

3 「健康教育」「安全教育」の推進 【体】

健康についての知識、理解を深め、体力向上を図ります。

交通安全や犯罪被害防止等の知識を深め、危機回避能力を育成します。

4 「環境教育」「食育」の推進

学校教育活動全体を通じた環境教育の推進により環境保全に主体的に行動する実践的な態度や能力を育成します。

「食育」に関する指導の充実を図り、家庭、地域等との連携のもとに、地域産業や食文化の理解及び日常での実践力を高めます。

5 保・小・中・高連携の推進

保・小・中・高の連携を深め、学びの連続性を踏まえた教育活動を推進し、自己実現力を図り将来を担う人材を育成します。

6 特別支援教育の推進

交流及び共同学習の推進を図り、教職員の専門性の向上と支援体制の確立に努めます。